

いわて自然公園特派員だより(岩手県自然保護課)

場所：早池峰山【初冬の鶏頭山】

令和4年12月12日(月) 情報提供(文、写真) 岡野 治



山麓(早池峰ダム～岳間)から鶏頭山



本鶏頭付近から鶏頭山(左側)と早池峰山(右側)

12月になり、山はかなり白くなってきたので、好天予報の12日に鶏頭山に行ってきました。早池峰山塊の西端にある鶏頭山では、北西の季節風により綺麗な霧氷が見られるのですが、今回、霧氷が出来ていたのは、山頂付近の狭い範囲のみでした。強い季節風がまだ吹いていないようです。積雪は、登山口では残っている箇所が5cm以下、山頂では20～30cmで、先行者のトレースもあり、比較的容易に登れました。持参した軽アイゼン、ワカンのうち、軽アイゼンは下りで使用しましたが、ワカンは使いませんでした。



鶏頭山頂直下から本鶏頭北斜面の霧氷



鶏頭山東側から中岳、早池峰山と薬師岳(右奥)

平日でしたが10名を超える登山者と会いました。シカは鳴き声のみで会いませんでしたが、標高900m以下のササは、シカ食害でほとんど葉がなくなっています。

鶏頭山西側の岩のピークは、通称「ニセ鶏頭」と呼ばれていますが、本来の鶏頭山は、その形状から西側の岩のピークを指しているとのことで、「ニセ」でなく「本鶏頭」の呼び名を使うことにしました。



鶏頭山から毛無森の霧氷(左奥に岩手山)



ササのシカ食害跡